

王子ヶ浜小学校  
学校だより第9号

# 王子ヶ浜

令和元年10月23日(水)

〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町2-10-1

TEL:0735-22-8431 校長 山本眞也

秋の深まりを肌で感じる気候となりました。一日の中で、また一週間の中での寒暖差が大きいいためか、心身ともに疲れを感じる事がよくあります。改めまして、体調管理をよろしくお願いします。

令和元年度も折り返し地点です。特に2学期は学習に力を入れ、子どもたちの学力向上とともに教師の授業力向上も図っていきます。引き続き学校の取組へのご理解、ご支援をお願いします。

## ■本年度の全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日におこなわれた全国学力・学習状況調査(以下全国調査、6年生対象)の結果が学校に送られて来ています。以下、特徴的な内容に絞ってお知らせします。

今年度の全国調査は、子どもたち向けに国語、算数、児童質問紙がありました。昨年度まではA(基礎的な知識・技能を問う内容)、B(活用する力を問う内容)に分かれていましたが、今年度からA、Bが一つになりました。

調査結果としては、国語、算数ともに全国・県平均を上回りました。全国調査の問題は通常の単元末テストとはかなり様相が異なります。そのため問題に対する“慣れ”も大きな力ギとなります。本校では、県学習到達度調査(例年2学期に実施)の受検対象となる4年生時より、過去の問題や類似問題等を活用して、“慣れる”機会を多く持つようにしてきました。併せて全学年で学習した内容を復習する機会を多く持つように工夫してきました。

児童質問紙では、子どもたちの生活習慣や学習習慣、学習に対する態度、自己肯定感等が問われます。これについても全体的には良い傾向の結果でした。

特に、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「いじめはどんなことがあってもいけない」では肯定的な回答が全国平均を上回っていました。また、「学校に行くのは楽しいですか」も同様で、友だちとの関係が比較的良好であることが推測されます。

一方、家庭学習の時間が「30分以上、1時間より少ない」の割合が県・全国より10%程高いこと、読書の時間が「まったくしない」が15%高いこと等が課題として提起されました。

学校として、学んだ事を定着させるための時間を確保する必要性を痛感しています。できるだけ多くその時間を確保するように工夫していきます。

併せて、家庭での学習時間の確保を含めた家庭学習の充実をしっかりとお願いします。宿題や復習、予習、自由学習などやるべきことはいっぱいあります。時間の目安はよく“学年×20分”と言われています。3年生なら3×20分=60分です。

## ■日曜参観にご参加ください。

27日(日)に日曜参観をおこないます。参観終了後は、校医真砂州宏先生によるご講話も予定しています。多数の方々のご出席をお願いします。

13:50~14:35(5限目) 授業参観 (各教室)

14:40~15:25 講話「この時期に気を付けたい子どもの病気」(3階会議室)

※1~3年生につきましては授業参観後下校です。必要に応じてお子様を図書室でお預かりします。4年生以上は6限まで授業をおこないます。是非とも講話にご出席ください。